

スマートで活力ある社会の共創



主要課題

スマート社会の実現、地域の活性化、
安心・安全で快適なまちづくり

社会・産業の変革を促進し、 九州とともに発展します



九電ドローンサービス㈱による森林資源の見える化サービス(ドローンレーザー測量)

地場企業として、これからもずっと

九電グループは、九州の地場企業として、地域の持続的な発展が不可欠であると考えています。地域の皆さまや自治体、地場企業等と連携し、九電グループのリソースを活用しながら、地域が抱える課題を解決していくことで、スマートで活力ある社会を共創していきます。

都市開発事業を通じた地域・社会の発展への貢献

九電グループは、都市開発事業を通じ、地域の賑わい創出や交流人口の拡大等の地域活性化に取り組んでいます。

大分市荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業では、2024年4月に商業施設「荷揚リンクスクエア」が開業しました。防災拠点などの公共施設や、店舗併設の屋外テラスなどを備えた、賑わいと交流・憩いの場となっています。

物流施設事業では、2024年1月に佐賀県基山町で「グローバルロジ基山」が竣工しました。交通便利性に優れたエリアに立地しており、また、再エネ100%の電気を使用することで、九州全域の物流効率化やカーボンニュートラルに貢献します。

福岡・熊本・広島空港の空港運営事業では、施設の拡充や航空ネットワークの充実などを通じて交流人口の拡大を図り、地域の発展・活性化に貢献していきます。



荷揚リンクスクエア(大分県大分市)



グローバルロジ基山(佐賀県三養基郡)

地域・社会課題解決に向けたICTサービスの提供

九電グループは、デジタル技術を活用した地域・社会の課題解決に資する事業・サービスに取り組んでいます。

九電ドローンサービス

九州電力は、ドローンを活用した空撮・点検・測量などを行う「九電ドローンサービス」を展開しています。人の立入りが難しい危険な場所のドローンによる点検や、高齢化・人手不足が課題の農業におけるドローン農業散布・AIデータ分析等、さまざまなサービスを揃えています。

2024年4月、九電ドローンサービス㈱を設立し、サービス提供エリアを全国に拡大しました。



ドローンによる農業散布の様子

地域情報プラットフォーム

九州電力は、SBIホールディングス㈱及び㈱筑邦銀行と共同で設立した「㈱まちのわ」にて、デジタル地域通貨(商品券)のプラットフォームを展開し、これまでに九州内外90以上の地域にアプリを提供しています。

このプラットフォームを使って九州電力と金沢大学が共同開発した「Anshin Coin(あんしんコイン)」は、「令和6年能登半島地震」における被災地支援として、アプリ上で寄付と併せた応援メッセージの送信を実現しました。



Anshin Coin
アプリ画面

地域の皆さまから信頼される企業を目指して

九電グループは、地域の皆さまとの信頼関係を大切に、地域の皆さまと一緒に、顔の見える活動に積極的に取り組んでいます。

ボランティア活動

NPOや地域の方々と協力して地域の課題解決に取り組む「こらぼらQでん」を九州各地で展開しています。そのうち、環境分野の取組みを「こらぼらQでんeco」とし、地域の皆さまと一体となった環境保全活動に取り組んでいます。

2023年度は47件の活動を行い、協働先を含めて延べ約2,700名が参加しました。

これらの取組みのほかにも、こども食堂の支援・開催など、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。



「佐賀城(しゃち)の門」周辺清掃活動 (佐賀県佐賀市)



須美江海水浴場清掃活動 (宮崎県延岡市)

地域の活性化等につながるイベントの開催

地域活性化等につなげていくため、九州の各県で、九電グループ一体となってさまざまなイベントを開催しています。

イベントを通じ地域を盛り上げていくとともに、地域の皆さまとの双方向コミュニケーションの推進に取り組んでいます。



キューデンヴォルテクス選手も参加したカーボンニュートラル関連イベント (鹿児島県鹿児島市)



地域の皆さまとの共催イベント「カドフェス」 (福岡県福岡市)

地域のまつりへの参加

地域を盛り上げ、地域の皆さまとの交流を深めるため、九州各地で、九電グループの社員が地域のまつりへの参加や運営のお手伝いを行っています。

2023年度は、延べ約2,400名の社員がまつりに参加しました。



小倉祇園太鼓 (福岡県北九州市)



藤崎八幡宮例大祭 (熊本県熊本市)

九電みらい財団の取組み

九電みらい財団では、坊ガツル湿原(大分県)一帯で、生態系や景観を守る「野焼き」等の環境保全活動に、九電グループ社員や地域の皆さまと一緒に取り組んでいます。

また、子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の環境保全につなげることを目的に、九州電力の社有林「くじゅう九電の森」(大分県)や、地域の皆さまと協働で取り組む森づくり「九電みらいの森プロジェクト」で整備している「いさはや(長崎県)・きりしま(鹿児島県)九電みらいの森」において、間伐や植林等の体験を通じた環境教育を行っています。



坊ガツル湿原での野焼き活動 (大分県竹田市)



いさはや九電みらいの森での環境教育 (長崎県諫早市)

積極的に情報発信を行っています

九電グループの「地域とともにある企業姿勢」や事業トピックスを多くの皆さまに知っていただくため、取組みの内容等について、当社のSNS等を通じて積極的に発信しています。

2024年3月からは、九電グループの地域共生活動や社員にスポットを当てて紹介するショート動画「九電グループ社員 もうひとつの顔」をSNS上で公開しています。

「九電グループ社員 もうひとつの顔」は各種SNSでご覧いただけます▶
YouTube



「九電カズヒロチャンネル」は公式YouTubeチャンネルで公開しています▶
YouTube



ショート動画
「九電グループ社員 もうひとつの顔」
長崎ランタンフェスティバル編



KAZ(カズ)さんこと池辺和弘社長が社員と一緒に当社トピックスについて紹介する「九電カズヒロチャンネル」(YouTubeチャンネルで公開)

